

地域とともに歩み地域に信頼される開かれた学校づくりに向けて  
～大網高校と地域の協働活動が支える大網駅高架下壁画リニューアルプロジェクト～

## 1 目的

大網高等学校は、山武農業高等学校と白里高等学校が統合して14年目を迎える。現在は農業関係学科3クラス、普通科1クラスである。

地元の大網白里市と近隣の東金市から通う生徒が45%と約半数を占め、進路は就職が約50%であり、卒業後も地元から通勤する生徒が多く、地域で活躍できる人材を育成している。

本校の学校教育重点目標の一つに、地域社会や関係機関と連携した教育活動が掲げられている。12年前に本校の生徒、PTA、地域関係団体により大網駅高架下に壁画が描かれた。年月を経て、汚れや劣化が目立ってきたため、コロナ禍で多くの学校行事が中止や延期となる中、学校と地域が協力して壁画のリニューアル事業にチャレンジして、地域学校協働活動による「地域とともに歩み、地域に信頼される開かれた学校づくり」を推進する。

## 2 成果

### (1) 業務の分担の明確化

大網駅高架下壁画リニューアルプロジェクトに向けて、NPO法人市民ステーション・まちサポの代表者の方に、学校と地域の架け橋としてのコーディネーター的役割として、関係団体との日程調整や募金に関する事務手続きを担当していただいた。

その結果、学校は業務改善を図り、教員は生徒によりそって描画指導に専念することができ、地域の団体は活動の活性化を図ることができ、WIN WINの関係を構築し円滑なプロジェクトを実施できた。



延べ50名のPTAや地域の方々が応援してくれました。



大網駅員の皆様も忙しい仕事の間にかけつけて色付けしていただきました。

## (2) 生徒の自己肯定感の向上

大網駅高架下壁画リニューアルプロジェクトの体験活動を通して、地域の方々との協働活動による達成感とともに、社会性やコミュニケーション力の向上を図り、地域の方から感謝され、ほめられることで自信を深め、自己肯定感を高めることができた。

また、参加にあたっては、部活動単位の参加もあったが、ほとんどの生徒はボランティアとして参加してくれた。自ら判断し、学校や地域のために汗を流すというボランティア精神を醸成することができた。

## (3) 関係団体との連携強化

様々な活動をしている地域の諸団体との間に、今後の持続可能な地域学校協働活動を見据えたお互いの顔の見える関係作りを推進することができた。



塗料は(株)日本ペイント様から提供いただき、セレモニーも開催しました。



大網白里市長も生徒と一緒に参加していただきました。

## 3 準備・実施段階の工夫

### (1) 顔の見える関係作りの推進

大網駅高架下壁画リニューアルプロジェクト実行委員会を立ち上げ、関係団体同士が顔の見える関係作りを推進し、それぞれの団体ができることを分担した。各団体との連絡調整は世話役としてコーディネーターが中心に行うことで、学校職員の負担を軽減することができた。



プロジェクト実行委員会で顔のわかる関係づくりが「はじめの1歩」

### (2) 新型コロナウイルス感染症予防対策

梅雨の明けた7月中旬の猛暑の中での作業では、マスクを着用するのも苦しい状態であったが、感染者を出さないよう健康観察や感染対策に万全を期し実施した。

### (3) 熱中症対策

生徒の体調管理の徹底、日よけテントの設営、水分補給、作業の効率化など対策を講じ、熱中症防止対策を徹底した。



大網駅の作業は猛暑の中、9日間延べ300名の生徒が参加しました。日よけ用にテントを設営し、飲み物は大網白里市や後援会から援助していただきました。

### (4) 安全対策の徹底

生徒などでは危険な高所の塗装作業は協力団体の専門家に任せ、安全第一で実施した。大網駅前には通行人が多く、歩行者の誘導が不可欠であるので、地域で小学生の登校を見守る防犯パトロールの皆さまの協力の下、安全に配慮して実施した。



危険な高所作業は地元の専門家に協力いただきました。



通行人を安全に誘導いただいた地元の防犯パトロールの皆さん。

## 4 広報・報道実績

(1) 駅前の壁に「マリン」 8月13日 千葉日報

(2) ふるさとチャンネル「高校生による壁画リニューアルプロジェクト」

9月1日(株)広域高速ネット296 制作放送

(3) 大網駅高架下壁画リニューアル完成報告

10月1日 NPO 法人市民ステーション・まちサガ



完成間近です。参加者全員、達成感と心地よい疲労感につつまれて、笑顔があふれています。

大網 3



真夏の強い日差しに映える大網白里市キャラクター「マリン」

## 5 取組への反響(参加生徒の感想)

### (1) 大網高等学校美術部部长

「新型コロナウイルス感染症予防のため、人との距離を保って、感染者を出すことなく無事に終わることができたので、安心しました。大網高校の有志の生徒やPTA、後援会、地域の方々が協力していただけたおかげでプロジェクトを成功させることができたと思います。大網白里市の多くの方が親しみを感じて欲しいと思います。本当にありがとうございました。」



ケーブルテレビの取材を受ける美術部員

## 6 今後の方向性

### (1) 大網駅前美化活動ボランティア

地域のボランティア団体が主催する大網駅花壇植栽ボランティアやゴミ拾いボランティアには、本校で栽培した草花を利用してもらい、その草花を育てた生徒も登校前の朝7時からの活動であるが積極的に参加している。



自分たちが栽培した草花を活用し、大網駅の花壇を植栽します。



大網駅でのゴミ拾いボランティアを通じて地域に貢献し、自己有用感を高めます。

### (2) 大網駅構内での学校活動紹介

大網駅構内通路の掲示板を活用して学校の活動紹介パネルを展示します。

また、大網駅芸術祭で部活動の作品展示予定です。



### (3) 地域ボランティア活動の推進

地域で開催される様々な活動にボランティアとして参加。ボランティア団体主催の合同説明会を実施し、活動内容を生徒が理解して参加しやすい雰囲気を作っている。過去に台風被害あった農家へ災害復旧ボランティアに参加した生徒は、涙ながらに感

謝していただくなど貴重な体験となっている。

#### (4) 地域の産業祭への参加

大網白里市や商工会主催の産業祭へ参加し、生徒が自分で栽培した農産物や製造した加工品を自らの手でお客さんに販売し、お客さんから「ありがとう」と笑顔で言われることが学びの一番の原動力である。販売会などでは、「大きな声であいさつすれば、みんなが元気になる」を合い言葉に、あいさつや笑顔の大切さを教えている。感染症対策に万全を期し、貴重な体験を保障する。



産業祭では、自分達がつくった大人気の「いちごジャム」を自信と誇りと感謝の気持ちを込めて販売します



大網白里市の名物「いわしコロケ」と相性のいいエゴマソースを地域の方々と協力して商品開発しています。

#### (5) 食育活動の推進

農業専門高校が有する施設・設備を活用し、生徒が授業で学んだ知識技術を小学生へリトルティーチャーとして教えることで、学習内容の定着を図り、自信と誇りを持ち専門科目に取り組むことができる。



食育活動として、地域の小学生に栽培や飼育を体験してもらい、食への関心を高め、生徒も相手を思い接することで豊かな心が育ちます。

#### (6) 情報発信

これらの各取組は、定期的にホームページに掲載し、情報発信に努め、ホームページのファンを増やす。さらに、学校行事も含めユーチューブにリンクさせて動画配信なども検討する。

# 大網駅前壁画リニューアルプロジェクト

2021年7月12日～7月23日



大網駅前壁画  
リニューアルプロジェクト2021



初代壁画 2021年5月撮影

初代壁画は2009年に美術部、生徒会、PTAによって描かれ、大網駅前のシンボルとして多くの人に愛されてきました。しかし、完成から12年が経過し、劣化・汚れが目立つようになりました。

そこで、本校と市役所、JR大網駅、市内ボランティア団体によって、今回のリニューアルプロジェクトが計画されました。

原画は美術部が担当しました。ハッピーペイントプロジェクトによる塗料提供や、大網市民の方々や市内企業からの寄付など多方面からの援助がありました。

今回の制作には部活動単位で参加した美術部・演劇部・野球部の他に、個人として多くの生徒が参加し、その数は延べ450人でした。

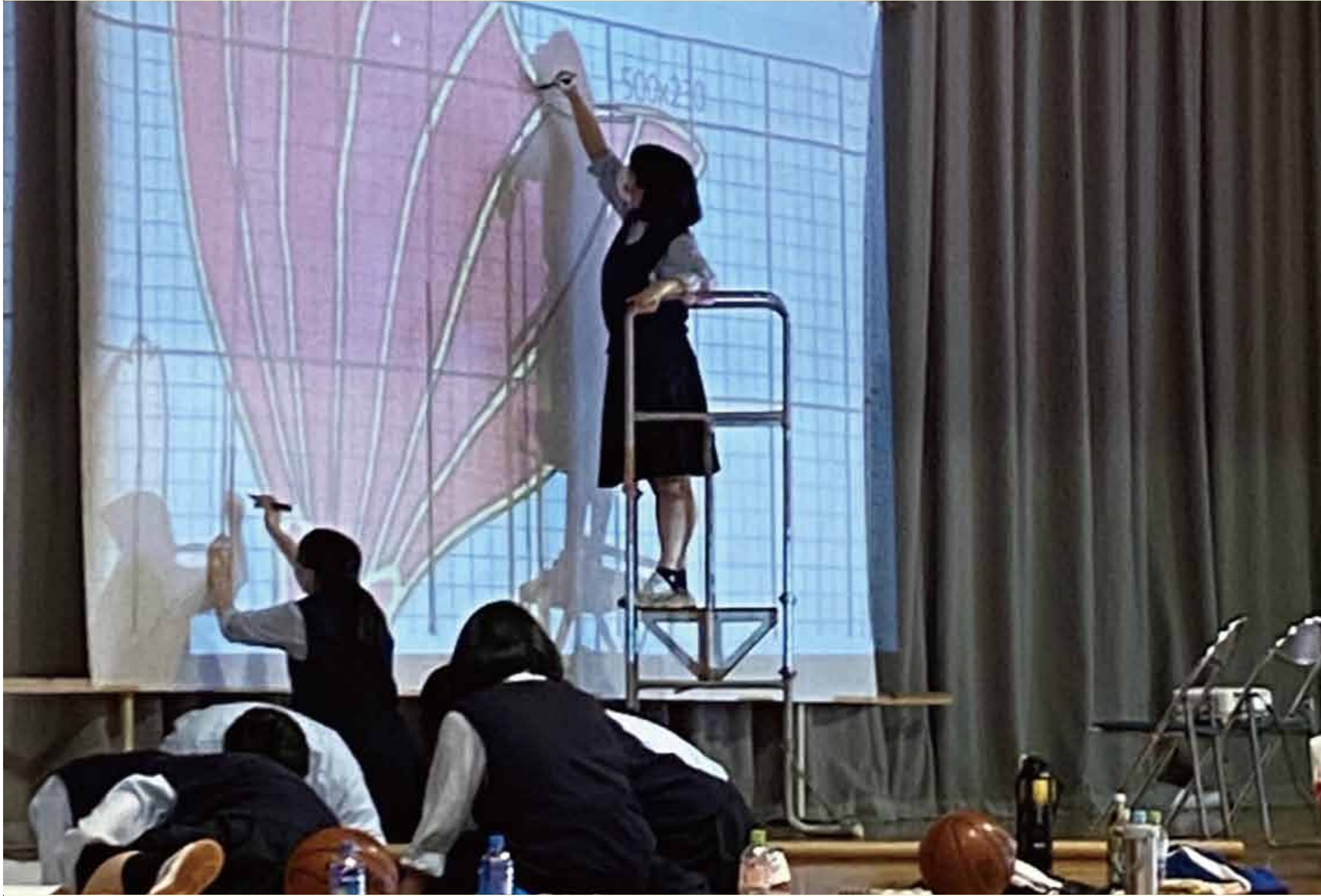
これは本校全生徒数に匹敵します。

私たちが力を合わせて作り上げた作品が、大網駅前のシンボルとして、愛され、親しまれることを願います。



【トレース】

6月7日



下絵をプロジェクターで投影し、原寸大に拡大します。

1

【トレース】

6月14日



トレースが完成しました。次はアウトラインを油性マーカーで固定します。

2

【下絵完成】

6月25日



原寸大の下絵が完成しました。体育館に並べて確認をします。

3

【切り離し】

6月30日



色ごとに切り離します。各部品は壁面に貼る型紙(カルトン)となります。

4

【カルトン作成】

7月13日

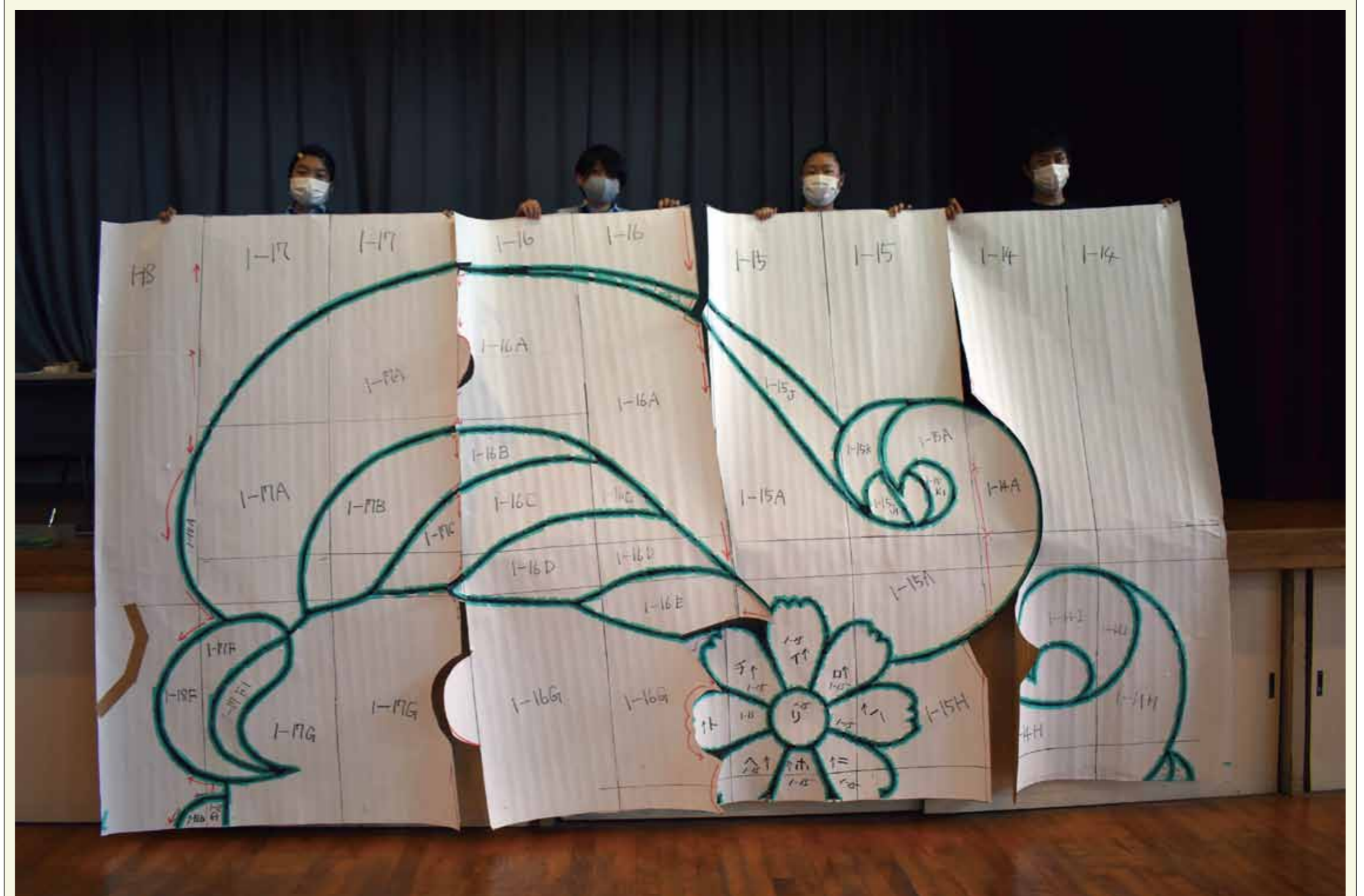


原寸大の下絵。一度切り離して再度テープで仮止めをします。現場で各部品ごとに剥がして形をトレースするのに使います。

5

【カルトン完成】

7月13日



原寸大の下絵。これを現地の壁に貼り付けます。各部品を剥がしながら形をトレースし転写に使います。開始から1ヶ月。

6



【壁洗浄】

7月12日



泥や堆積物をスコップで除去し、タワシ、ブラシで水洗します。見違えるように綺麗になりました。

7

【壁洗浄】

7月12日



下塗剤シーラーを塗る前の大事な作業です。

8

【下塗り1回目】

7月16日



【脆くなったペンキをヘラで剥がし塗装の準備をします。

9

【下塗り1回目】

7月16日

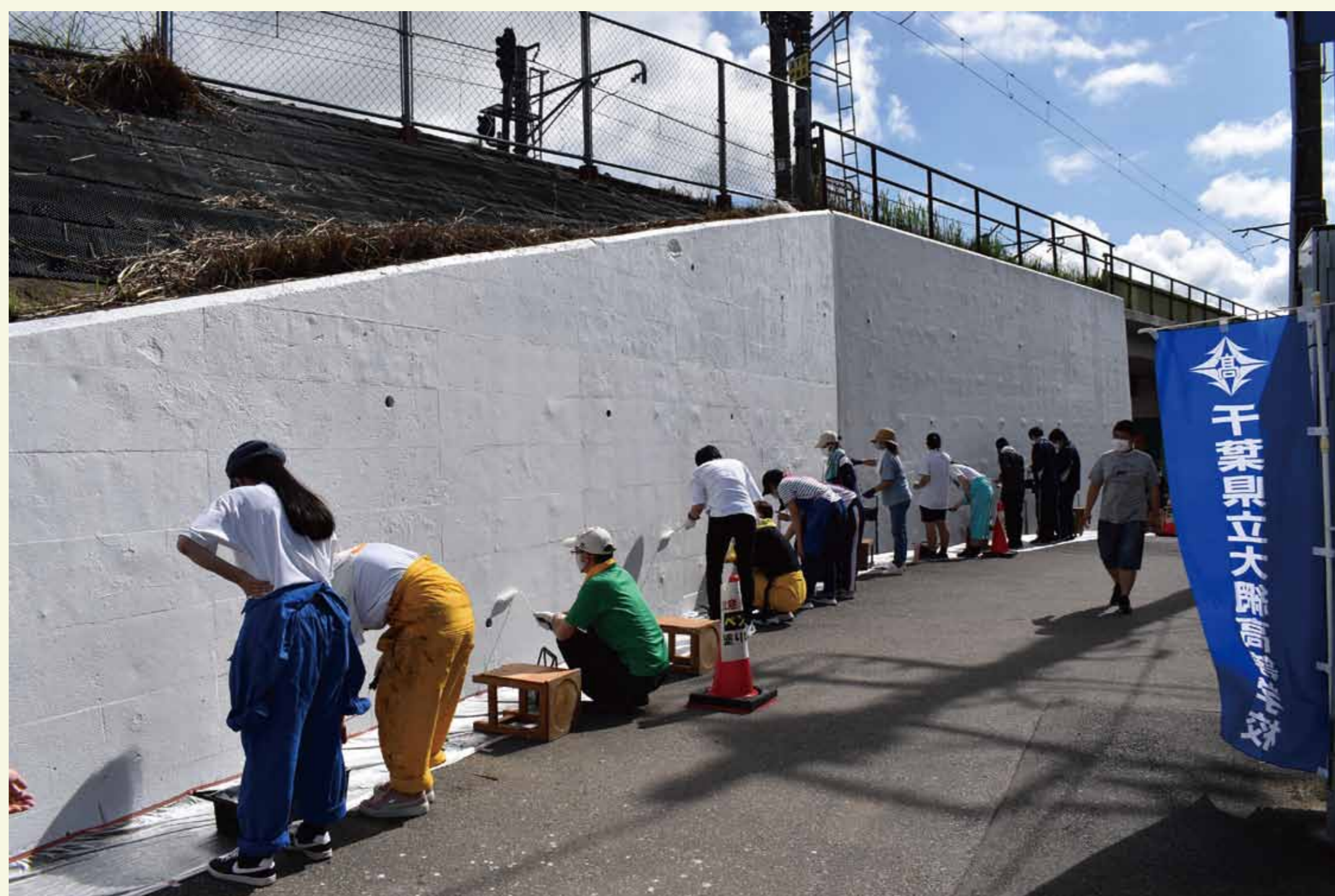


シーラーを塗布後、1回目の下塗り  
大網駅長さんも毎日参加してくれました。

10

【下塗り2回目】

7月18日



前日に続き下塗り2回目。前作がすっかり隠れて、眩しいほどの白壁になりました。

11

【下絵転写】

7月19日



体育館で作った下絵を壁に貼り付け、転写準備をします。

12





【下絵転写】

7月19日



下絵は各色の部分  
が型紙となります。  
油性マーカーで  
アウトラインを  
なぞります。  
13

【アウトライン描画】

7月20日



前日に転写した  
アウトラインを  
黒ペンキで  
描き込みます。  
14

【着彩1】

7月21日



色はみ出さない  
ようにマスキング  
をしてから、  
着彩に入ります。  
この日はピンク  
淡色、緑色と  
黄色です。  
17

【着彩1】

7月21日



学校は今日から  
夏休みです。  
涼しいうちに  
作業が進め  
られます。  
大網駅員さん  
達も一緒に  
塗ります。  
15

【着彩1】

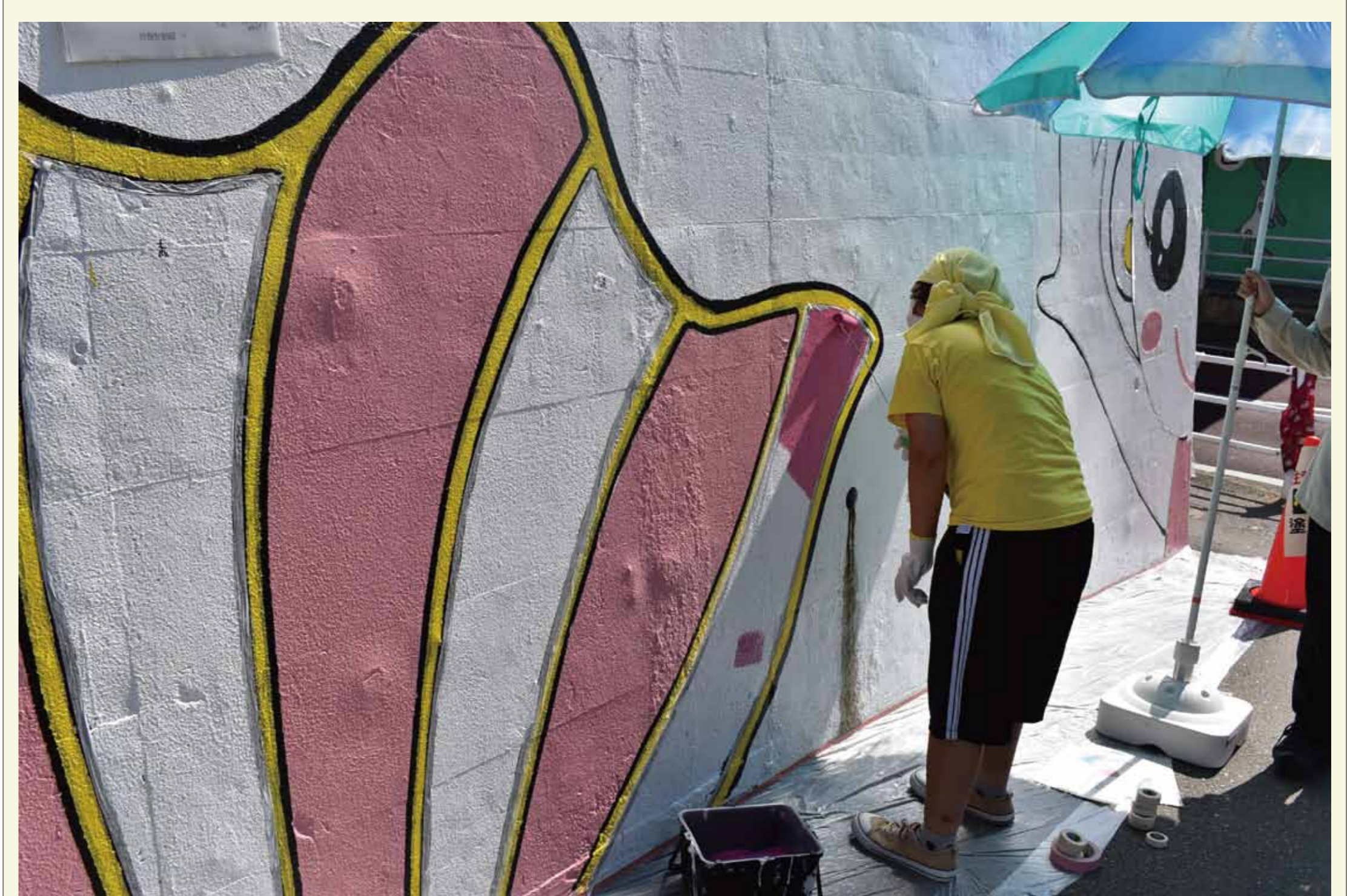
7月21日



1日目が終わ  
りました。  
コスモスの花  
飾りがお洒  
落です。  
16

【着彩2】

7月22日



着彩2日目。  
はみ出さない  
ようにマスキ  
ングをして  
から着色に  
かかります。  
この日はピン  
ク濃色と薄  
橙、青色で  
す。  
18



【着彩2】

7月22日



着彩2日目。慎重に、丁寧に、そして確実に作業を行います。

19

【セレモニー】

7月22日



プロジェクトを支援してくれた関係者の方々と生徒代表の記念撮影。

20

【最終日】

7月23日



作業開始前には、路面にビニールシートを敷きます。

21

【最終日】

7月23日

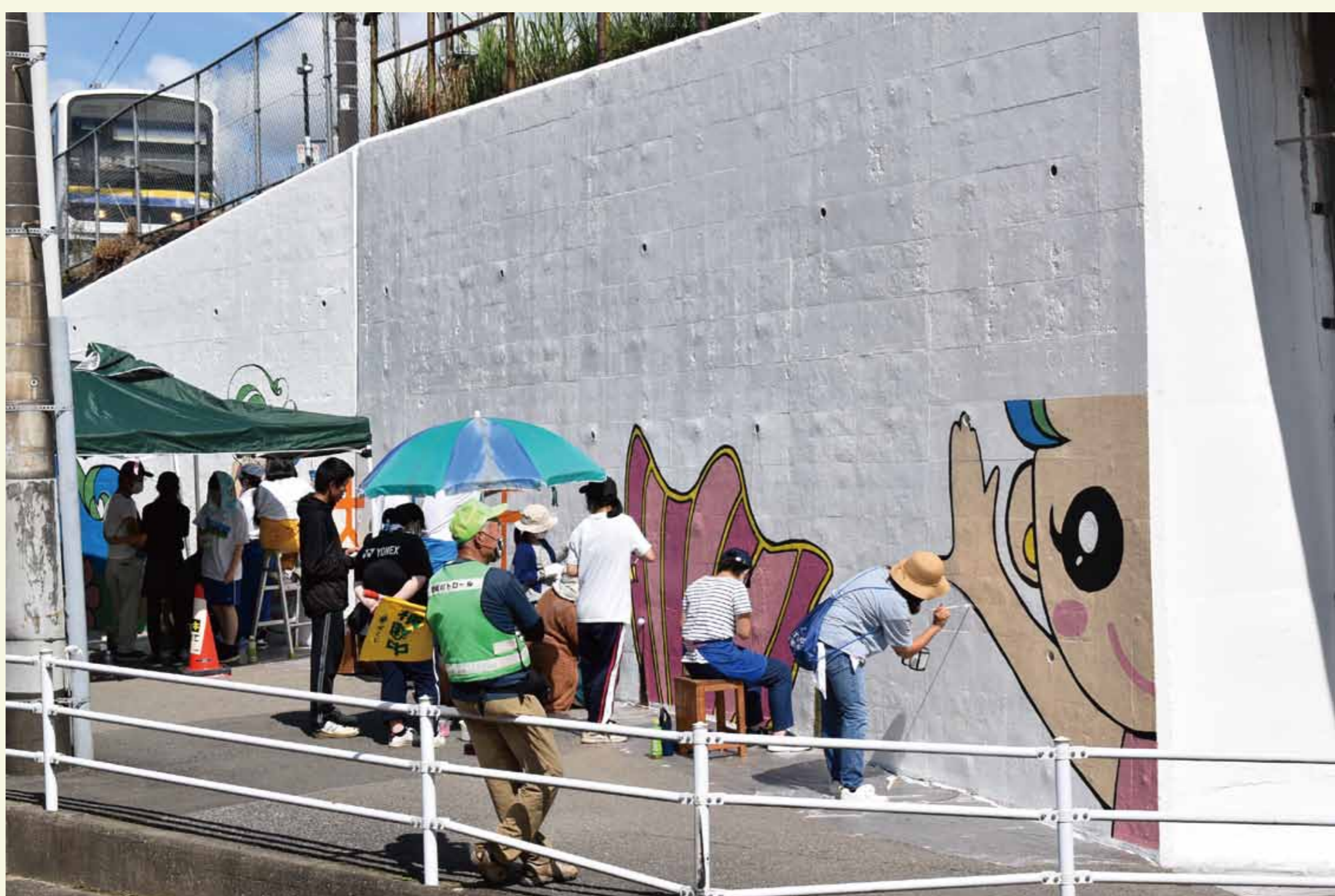


苦勞の甲斐がありました。完成も間近です。

22

【最終日】

7月23日



最後の仕上げです。妥協はしません。細部まで丁寧に仕上げます。

23

【最終日】

7月23日



駅長さんとも仲良くなりました。

24



【最終日】

7月23日



ケーブルTVの取材もありました。美術部員がインタビューに答えています。

25

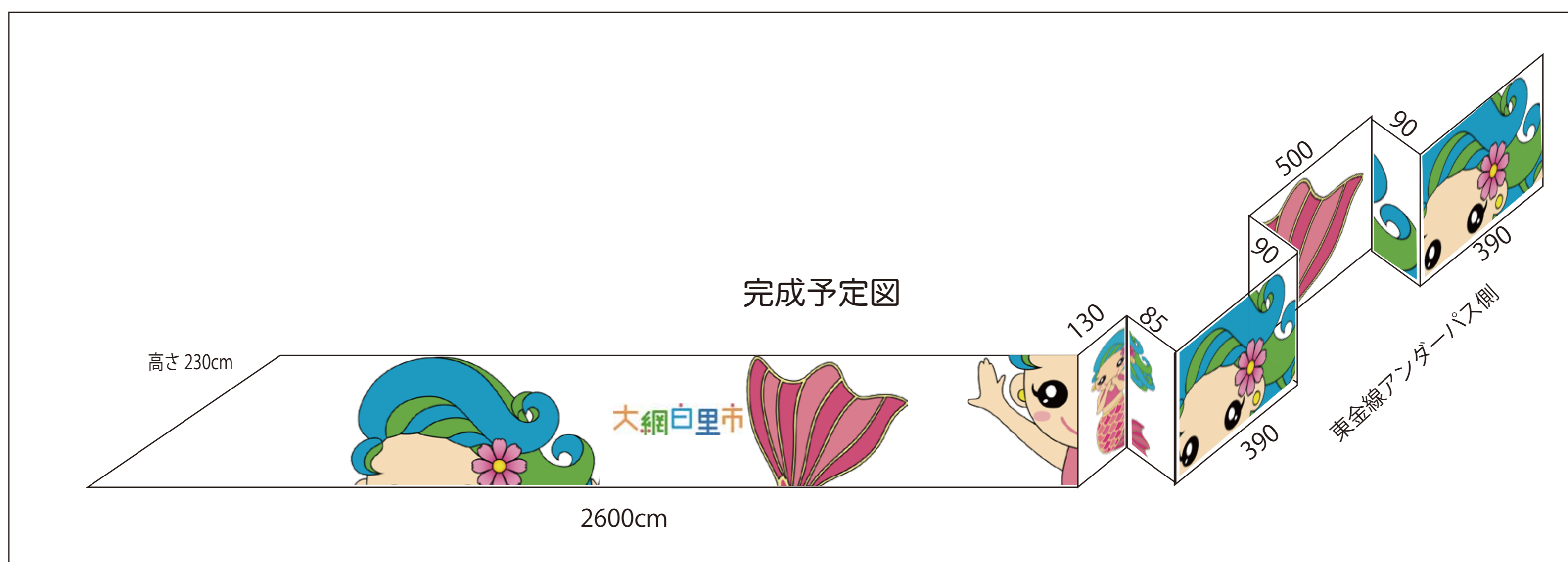
【最終日】

7月23日



路面の汚れ落とし、水洗清掃をしました。全ての作業が終わり、ようやく完成です。

26



制作 / 大網高校生徒会・PTA・同窓会・後援会・JR大網駅職員の方々・大網白里市・まちサポの方々  
Supported by HAPPY PAINT PROJECT

